

鳥取県内初の聴覚障がい者の常設型サロンとして、2016年に設置された。週3日のサロン開放と月2回のカフェで、孤立しがちな高齢聴覚障がい者らの情報取得と交流の拠点としてにぎわいをみせている。

西部圏域高齢聴覚障がい者日中活動支援事業として月2回、参加者の要望を受けてスタッフがとっとり花回廊の散策や各種勉強会などを企画。県西部の20〜30人の聴覚障がい者らが集まり、スタッフの手話通訳などのサポートを受けながら心置きなく満喫できる。

鳥取県西部

NPO法人

西部ろうあ仲間サロン会

手話でおしゃべり
高齢聴覚障がい者の情報・交流拠点

0人も参加。地元の小学校との交流も含め、地域との関わりも年々深まっている。

また、自宅に向いて手話や筆談で交流する訪問事業に取り組み、引きこもりがちな聴覚障がい者が外に出るきっかけづくりに取り組む。森田忠正理事長は「認知症の傾向のあった人

の症状が改善されるなど、聞こえない方もここに来ると生き生きして元気になる。当事者の自発的な思いから生まれた。た取り組みなので、安定的な事業に育てていきたい」と意気込みを語った。



手話で世間話を楽しむ



聞こえないと情報が途絶えがちですが、仲間と会話をすればいろいろな情報や意見が飛び交います。現在約百人の賛助会員の輪を広げ、向上心を持って進みたいです。



理事長
森田 忠正さん

